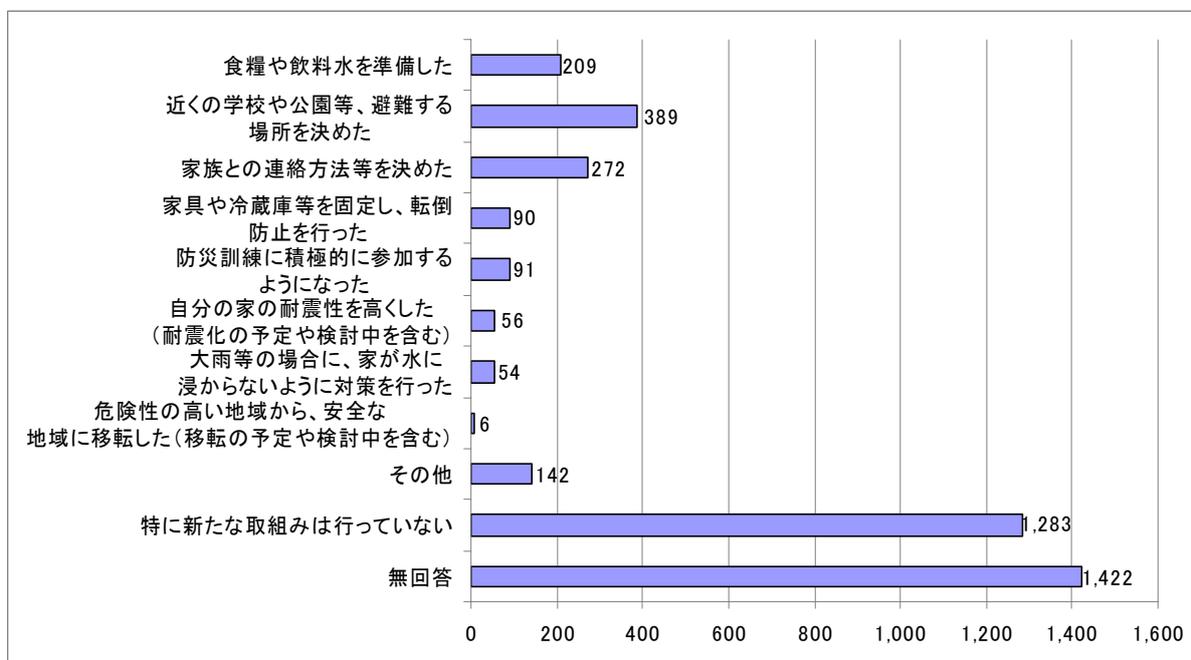


問 13. 「問9」で回答した取組みの中で、ハザードマップを見た後に新たに行ったものがありますか？（あてはまるものを全て選択）

- 特に新たな取組みは行っていないとする回答が最も多い。
- 問9と同様に、避難に関する取組みが多い傾向が見られる。

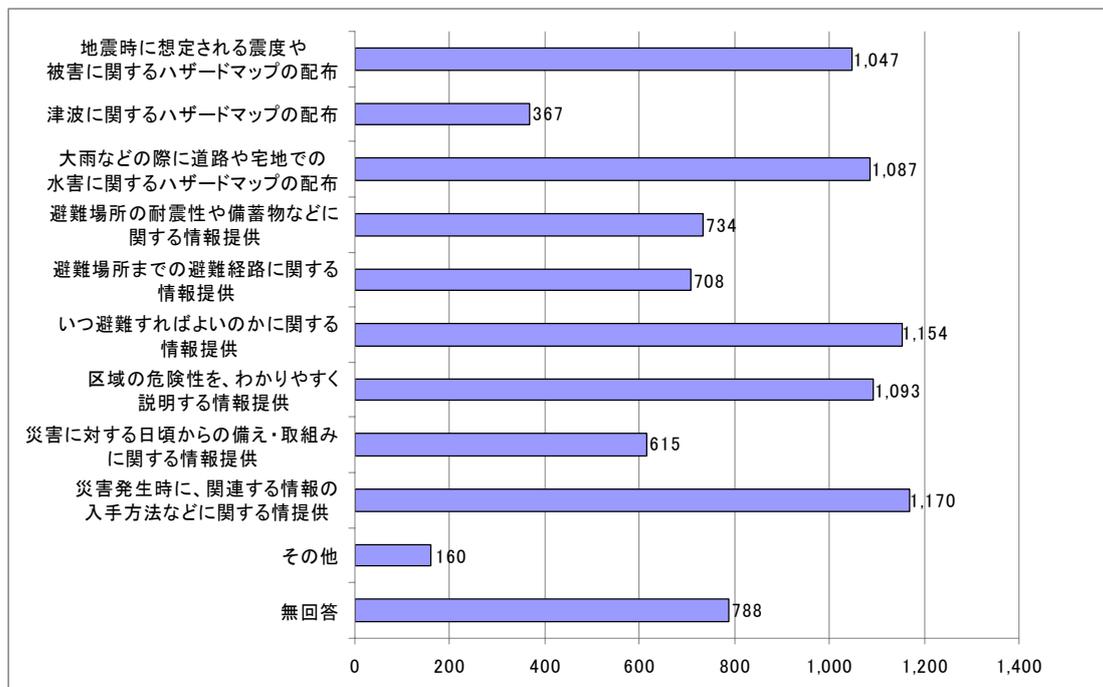


ハザードマップ確認後の新たな取組み	回答数	回答率
食糧や飲料水を準備した	209	6.1%
近くの学校や公園等、避難する場所を決めた	389	11.3%
家族との連絡方法等を決めた	272	7.9%
家具や冷蔵庫等を固定し、転倒防止を行った	90	2.6%
防災訓練に積極的に参加するようになった	91	2.6%
自分の家の耐震性を高めた (耐震化の予定や検討中を含む)	56	1.6%
大雨等の場合に、家が水に浸からないように対策を行った	54	1.6%
危険性の高い地域から、安全な地域に移転した (移転の予定や検討中を含む)	6	0.2%
その他	142	4.1%
特に新たな取組みは行っていない	1,283	37.2%
無回答	1,422	41.2%

問 14. 現在、洪水・土砂災害のハザードマップを配布していますが、その他に災害関連情報に関して必要と思われる取組みはありますか？

(あてはまるもの全てを選択)

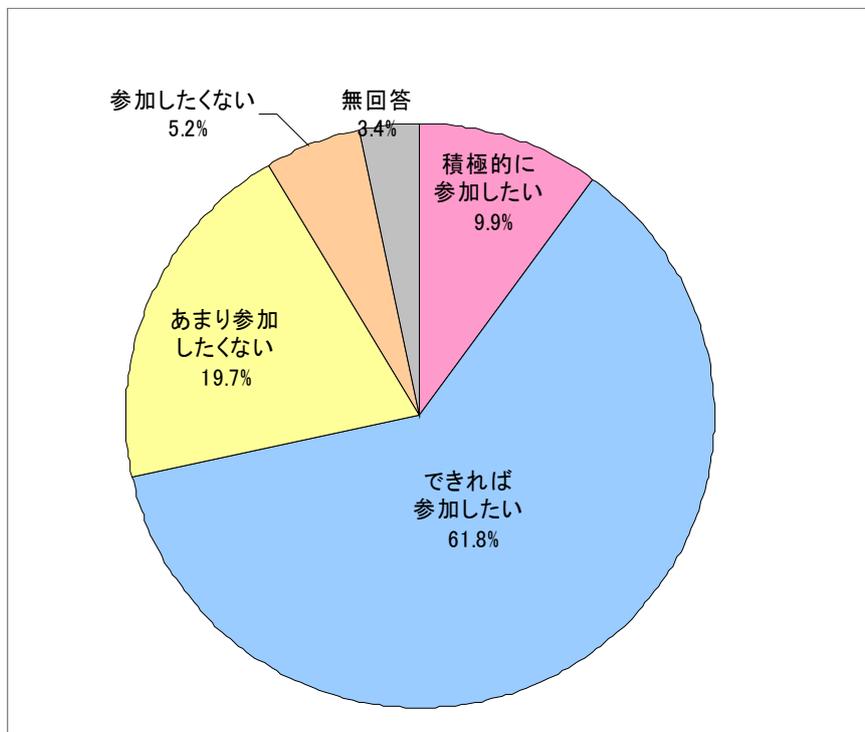
■ 「災害発生時の関連情報の入手方法」や「いつ避難すればよいか」、「区域の危険性」などの情報提供が重要とする意見が多い。



災害関連情報として必要な取組み	回答数	回答率
地震時に想定される震度や被害に関するハザードマップの配布	1,047	30.3%
津波に関するハザードマップの配布	367	10.6%
大雨などの際に道路や宅地での水害に関するハザードマップの配布	1,087	31.5%
避難場所の耐震性や備蓄物などに関する情報提供	734	21.3%
避難場所までの避難経路に関する情報提供	708	20.5%
いつ避難すればよいかに関する情報提供	1,154	33.4%
区域の危険性を、わかりやすく説明する情報提供	1,093	31.7%
災害に対する日頃からの備え・取組みに関する情報提供	615	17.8%
災害発生時に、関連する情報の入手方法などに関する情報提供	1,170	33.9%
その他	160	4.6%
無回答	788	22.8%

問 15. あなたは、今後、地域が主体となって安全・安心まちづくりの活動を行う場合、参加したいと思いますか？（ひとつだけ選択）

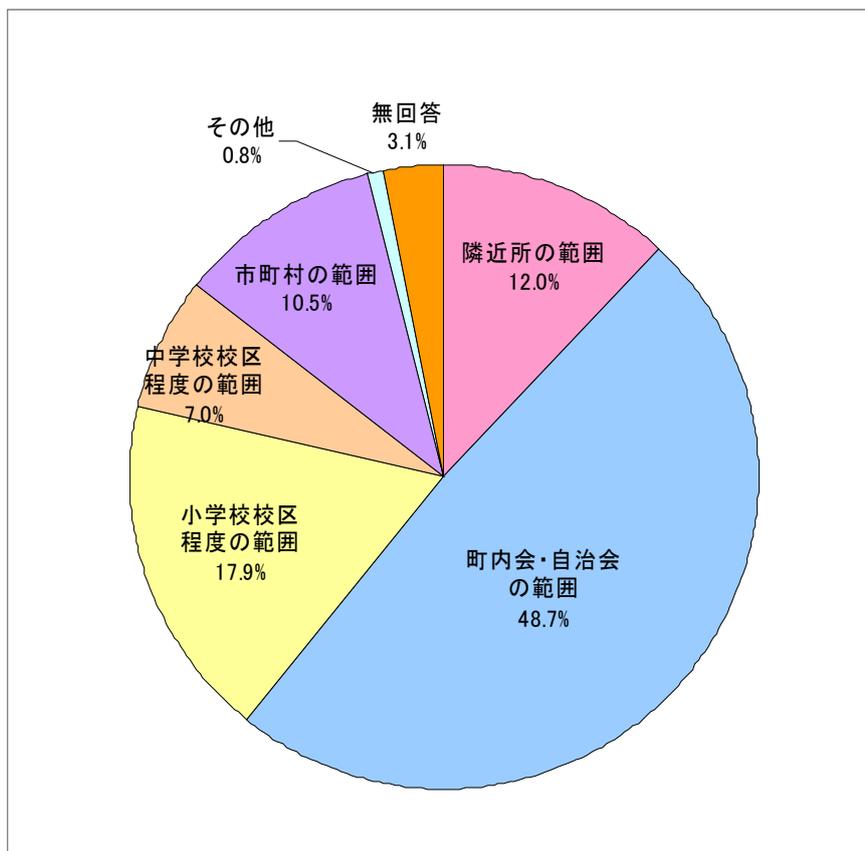
■ 「積極的に参加」もしくは「できれば参加」とする意見が合計で 71.7%となっている。



地域が主体の活動への参加	回答数	回答率
積極的に参加したい	341	9.9%
できれば参加したい	2,134	61.8%
あまり参加したくない	680	19.7%
参加したくない	179	5.2%
無回答	117	3.4%
合計	3,451	100.0%

問 16. 安全・安心まちづくりに向けた地域活動を行う際に、あなたがイメージする「地域」は、どの程度の範囲ですか？（ひとつだけ選択）

- 町内会・自治会とする意見が最も多く、48.7%を占めている。
- 次いで、小学校校区程度（17.9%）、隣近所（12.0%）となっており、小学校校区程度までを地域活動の範囲としてイメージする人が78.6%を占める。



地域範囲のイメージ	回答数	回答率
隣近所の範囲	414	12.0%
町内会・自治会の範囲	1,682	48.7%
小学校校区程度の範囲	619	17.9%
中学校校区程度の範囲	240	7.0%
市町村の範囲	361	10.5%
その他	28	0.8%
無回答	107	3.1%
合計	3,451	100.0%